

2026年2月17日
損害保険ジャパン株式会社
第一交通産業株式会社
特定非営利活動法人福岡災害レジリエンス研究室

『レジリエンスな福岡の実現に向けた包括連携協定』の締結について

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）と、第一交通産業株式会社（代表取締役：田中 亮一郎、以下「第一交通」）、ならびに特定非営利活動法人福岡災害レジリエンス研究室（代表理事：平川 文、以下「Fラボ」）は、『レジリエンスな福岡の実現に向けた包括連携協定』を2月16日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

昨今の自然災害の激甚化・頻発化を受け、災害に強い地域社会の実現が急務となっています。このたび、交通インフラを担う第一交通産業の「移動」、支援団体のハブとなるFラボの「調整」、そしてデジタル技術で災害状況を早期把握する損保ジャパンの「情報」という3者の強みを掛け合わせることで、災害時における迅速かつ効果的な支援を実現するとの思いが一致し、本協定の締結に至りました。



2. 協定の目的

3者の強みを生かして平時より連携体制を構築し、災害発生時には一体となって、被災された方々の一日も早い『日常』の回復を支援します。

3. 協定の主な内容

本協定に基づき、平時と災害時の両面で以下の連携を行います。

(1) 平時における連携

- ・災害時を想定した共同研修の実施
- ・各社の強みを生かした支援内容の協議

(2) 災害時における連携

- ・ 第一交通：タクシー車両を活用した被災地支援
- ・ F ラボ：NPO 等支援団体との調整、および支援活動全体のコーディネート
- ・ 損保ジャパン：AI・デジタルを活用した被災状況の情報収集と共有

4. 今後について

3者は本協定を通じて緊密に連携し、福岡県の皆さまに安心・安全をお届けし、レジリエンスな地域社会の実現に貢献していきます。

【各社の概要】

■ 損害保険ジャパン株式会社

SOMP Oグループの中核として、損害保険事業を展開しています。江戸時代の火消しに由来する「HIKESHI DNA」を胸に、保険の提供に留まらず、社会全体の防災・減災の取り組みを推進します。

■ 第一交通産業株式会社

総合生活産業グループとして、全国34都道府県でタクシー・バス事業を主軸に、不動産など多角的な事業を全国展開しています。

■ 特定非営利活動法人福岡災害レジリエンス研究室（F ラボ）

災害時におけるNPO・企業・行政など多様な主体の連携を促進する福岡県の間接支援組織です。平時からの顔の見える関係づくりや、災害時の情報共有・調整を担っています。

以上